



ひろしま 県議会 だより

HIROSHIMA
Prefectural Assembly

広島県

年4回発行

第83号

令和8(2026)年4月

発行／広島県議会
編集／広島県議会広報委員会

巻頭写真は令和7年度広島県高等学校写真展に出展された

広島県立賀茂高等学校 おくもとひろは 奥本彩葉さんの作品「花の海」

撮影場所：世羅高原農場(世羅町)

2月定例会

- ◆令和8年度広島県当初予算案を可決
- ◆本会議の質問・答弁(2、3面)
- ◆予算特別委員会の審査の状況、常任委員会の動きなど(4面)

2月

定例会の概要

令和8年度広島県一般会計予算など59議案を可決

広島県議会は、2月定例会を2月17日から3月17日まで29日間の会期で開きました。

今回の定例会では、「令和8年度一般会計予算」や「広島県かき養殖経営安定緊急対策資金利子補給基金条例」、「いわゆる教育無償化の実現に係る恒久的な財源確保を求める意見書」などの議案が提出されました。

本会議では、当初予算案のほか、県政が直面する諸課題について、3人の議員が各会派を代表して質問を行い、13人の議員が一般質問を行ったほか、令和8年度当初予算について、予算特別委員会を設置し、また、その他の議案について、各常任委員会で審査・調査を行いました。

審議の結果、59議案について原案のとおり可決しました。

議決の状況

可決 令和8年度当初予算

一般会計 2 12 1
特別会計 件 件 件
企業会計 件 件 件

可決 令和7年度補正予算

一般会計 2 11 1
特別会計 件 件 件
企業会計 件 件 件

可決 条例案

広島県かき養殖経営安定緊急対策資金利子補給基金条例など 14件

可決 その他の議案

工事請負契約の締結についてなど 13件

可決 規則案

広島県議会会議規則の一部を改正する規則 1件

可決 意見書案

いわゆる教育無償化の実現に係る恒久的な財源確保を求める意見書など 2件

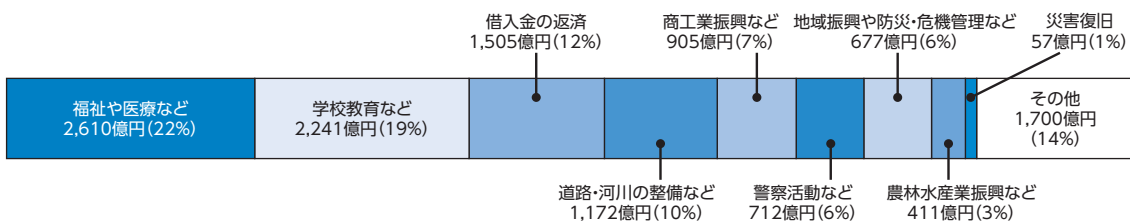
各議案に対する議員の表決態度(賛否)は、ホームページで公表しています。

広島県議会 検索 → 本会議情報 → 議案等審議結果

令和8年度一般会計予算等の概要

想定を上回るペースで進む人口減少、とりわけ若者の転出超過や長引く物価高、緊迫した国際情勢などの厳しい社会経済情勢においても、新しい時代の要請に応え、県民が誇りを持ち続けることができる広島県を目指し、国の補正予算を活用した令和7年度補正予算と一体的に編成。

(当初予算) (令和7年度補正予算) (総額)
1兆1,514億円 + 477億円 = 1兆1,990億円 (対前年度比 +739億円)



《主な施策》

- ◆重要施策 計 2,525 億円
 - ◎人を惹きつける地域づくり 811億円
 - ◎県民の安全・安心な暮らしの基盤づくり 840億円
 - ◎核兵器のない平和な世界の実現 3億円
 - ◎その他(公共事業など) 873億円
- ◆物価高・米国関税措置への対応 計 332 億円
- ◆かきのへい死対策 計 23 億円

※予算額はそれぞれの項目間で重複があるため、合計額と一致しない場合があります。

可決された意見書(3月17日議決)

- 消費税見直しに伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書
- いわゆる教育無償化の実現に係る恒久的な財源確保を求める意見書

2月定例会日程 (令和8年2月17日～3月17日)

2月17日	本会議	開会、提案理由説明など
2月18日	全員委員会	提案事項の説明など
2月20日～3月2日	本会議	代表質問、一般質問など
3月3日	予算特別委員会	運営方針等協議
3月4日～5日	各常任委員会	令和8年度当初予算の調査、付託議案の審査など
3月9日～13日	予算特別委員会	参考人意見聴取、総括審査
3月17日	本会議	委員長報告、議案の採決など、閉会

県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、6日間にわたって16人の議員が代表・一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。2次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

2月20日 代表質問(要旨)



自民議連
くぼた やすひさ
達田 泰久 議員
(広島市南区)

令和8年度当初予算案に込めた知事の思い

問 物価高や人手不足、カキのへい死など、本県の喫緊の課題と目指す姿の実現にどう取り組んでいくのか、予算案に込めた思いとともに伺う。

答 本県の多彩な宝や魅力を磨き、魅力を高め、県内外の人々の交流により創造性と活力を生み出し、さらに多くの人を引きつけ、経済も成長する好循環により広島を発展させたいという思いを込めた。「人を惹きつける地域づくり」、「県民の安全・安心な暮らしの基盤づくり」、「核兵器のない平和な世界の現実に重点的に取り組むほか、物価高や米関税措置など当面する課題にもしっかりと対処していく。

その他の質問項目

- 関係人口の拡大
- 人口減少下における地域公共交通の在り方
- 交流人口の増加に向けた観光振興
- 県と広島市との連携
- 県立高校の再編
- 高度医療・人材育成拠点構想



2月24日 代表質問(要旨)



民主県政会
やすゆき
東 保幸 議員
(広島市安佐北区)

非核三原則

問 被爆県の知事としての、非核三原則の見直しなど核兵器をめぐる国の動きに対する見解と、非核三原則の堅持に向けた今後の取組について伺う。

答 国是である非核三原則は、人類最初の被爆地の知事として絶対に堅持すべきものであり、政府高官からの「日本は核兵器を保有すべき」との発言は到底容認できるものではない。政府には、被爆地の思いをしっかりと受け止め、核兵器使用のリスクを防ぐ唯一の方法は廃絶しかないとの認識の下、非核三原則の堅持と外交の力による核抑止からの脱却に全力を尽くすよう、粘り強く訴えていく。

その他の質問項目

- 東京一極集中と若者の転出超過の是正
- 県財政に対する現状認識
- 公文書偽造問題と公益通報制度
- 高校の適正規模に対する考え方
- 宿泊税を活用した県内周遊の促進
- 高度医療・人材育成拠点の整備



2月24日 一般質問(要旨)



公明党
くりはら しゅんじ
栗原 俊二 議員
(広島市安佐南区)

協同労働の県内展開

問 町内会の担い手不足や中山間地域の維持困難などの地域課題の解決に向け、協同労働の仕組みを対策の柱に位置づけて取り組むにはどうか。また、全県展開に向け、どう支援するのか。

答 協同労働は、多様な働き方の創出につながる。住民が主体的に地域課題の解決を図る上で有効な手法の一つである。この仕組みを県内に広げるため、フォーラムや出前講座、自治体職員向け勉強会などを実施しており、こうした取組を積極的に情報発信するとともに、市町等と連携しながら、協同労働が地域社会に定着するよう取り組む。

その他の質問項目

- 核廃絶・平和政策の推進
- カキの大量へい死対策
- 女性活躍
- 男性の家事・育児参画
- 選ばれる県立高校づくり
- 災害対応力の強化



2月25日 一般質問(要旨)



自民議連
けんじ
煙石 顕司 議員
(広島市東区)

都市部における県立高校再編の必要性

問 将来学ぶ生徒の視点や中山間地域の維持困難などの地域課題の解決に向け、教育環境充実に向けた取り組みを、協同労働の仕組みを対策の柱に位置づけて取り組むにはどうか。また、全県展開に向け、どう支援するのか。

答 再編整備計画案は多様な体験・学びができる教育環境を整備するもので、地域や産業界と連携しながら取り組む。再編整備を行う学校が地域や産業の未来を支える人材育成拠点として特色や魅力を発揮できるように、教育資源を優先的に投入したい。

その他の質問項目

- 国の経済政策を受けた予算編成
- 日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区跡地における複合防衛拠点整備と産業政策
- ワット・ビット連携
- 公的ニーズが与える地域経済への影響及び低入札価格調査制度の見直し
- 広島港の港湾計画の方針
- 公益通報の機能不全



2月26日 一般質問(要旨)



民主県政会
かきもと ただもり
柿本 忠則 議員
(広島市東区)

新アリーナ構想

問 新アリーナ構想は、広島市中心部の魅力向上に寄与するものであり、その持続的な運営には官民連携等の検討も必要と考えますが、知事が掲げる関係人口の拡大などのビジョン実現にどう寄与すると考えるか、また、協力要請があった場合どう対応するのか。

答 建設候補地は広域的な商業機能等の集積を目指す広島駅周辺地区に位置するため、構想が実現すれば、広島市都心の魅力向上につながり、地域への愛着の醸成、関係人口の増加にも寄与する可能性がある。今後、具体的な要請があれば、どのような協力ができるか検討していく。

その他の質問項目

- 県全体における授乳室への搾乳表示の推進
- 認知症の支援体制
- ゾンビたばこの蔓延防止
- 今後の未来産業基盤推進に向けた知事の決意
- シェアリングエコノミー
- 渋滞緩和と広島高速道路の利用促進



2月25日 一般質問(要旨)



広志会
おさむ
井原 修 議員
(東広島市)

東広島市新産業団地の着工

問 来年度に新規着工予定の東広島新産業団地に係る説明会が開催されたが、県のビジョン改定の遅れに伴って道路整備計画や財源の裏づけがまま事業を進めるのか。

答 令和8年度当初予算は県政運営の基盤として現行計画を踏襲して継続事業を優先することとした。新たに実施する箇所については、市町の要望なども踏まえ、早期に実施する必要があると判断したが、次期事業別整備計画の策定が10月になることから、今後策定予定の次期中期財政運営方針も踏まえ、改めて市町とも調整しながら、次の5か年計画では正式に選定する。

その他の質問項目

- ビジョン改定遅延の影響
- 現在の県財政の評価
- 金利上昇を踏まえた財政確保策
- 広島県立病院機構の経営改善
- 県立高等学校の統廃合の進め方
- 県立高等学校に係る地元の存続要望の有無



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連
やち たくひろ
八幡原 圭 議員
(三原市・世羅郡)

稼げる農業への転換

問 食料安全保障の確保は喫緊の課題であり、農業を選ばざるを得ない状況にある。再投資が可能で次世代が家庭を築ける「稼げる農業」への転換をどう具体化するのか。

答 農業経営体の育成に加え、多様な主体が連携して農地を有効活用する体制を構築して新規就農者を確保・育成する。スマート農業技術の開発や、農業基盤の再整備と一体的な技術の導入により生産性を向上させ、経営規模の拡大や組織マネジメントに必要なスキルの習得に係る支援の強化により経営力を向上させる。来年度「農地再整備元年」を掲げ全力で取り組む。

その他の質問項目

- 中山間地域の交通インフラの整備
- いじめ・暴力行為への対応
- 農業生産における気候変動対策
- 多世代共生住宅の導入
- 不登校対策
- 学力の低下への対応



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連
おの あきひろ
岡野 齊也 議員
(尾道市)

道路維持管理の再構築

問 町内会活動など、地域の善意と努力によって支えられてきた道路維持管理は高齢化や担い手不足により限界を迎えており、これまでの手法の延長では将来にわたって安定的な維持管理を続けることは困難である。人口減少・高齢化が進む中、どのような考え方や方向性の下で取り組むのか。

答 地域の担い手不足等の課題が顕在化する中、より効率的・効果的な維持管理が必要である。草刈り等のボランティア活動への支援制度の運用改善をはじめ、必要な予算や担い手の確保、新技術の活用などにより維持管理の充実強化に取り組む。

その他の質問項目

- 造船業の再生・成長に向けた取組
- 中小企業に必要な支援が届く仕組みづくり
- ヒートショック予防対策
- 高齢運転者の安全と生活を守る対策
- 保育所等の空き定員、空き室の活用



用語解説 **協同労働**
仲間と共に地域課題の解決を目指して、メンバー全員が自らできる範囲で出資し、一人一人が対等な立場でアイデアを出し合い、人と地域に役立つ仕事に取り組む仕組み。

用語解説 **AX**
AI トランスフォーメーションの略。AIを中核に業務プロセスやビジネスモデル、組織文化まで根本的に変革する取組。AXにより競争上の優位性を確立できるとされている。

用語解説 **ポリファーマシー対策**
高齢者などで処方された薬の量や種類が増え過ぎることによる飲み合わせや副作用などの問題が起こることを防ぐため、医師や薬剤師が薬の内容を見直し、適正な服薬に調整する取組。

用語解説 **複合災害**
異なった種類または同じ種類の災害など、複数の災害が複合し被害が発生する災害。令和7年7月に見直された国の南海トラフ地震対策に係る計画において対策が盛り込まれた。

県立高校統廃合問題



日本共産党
河村 晃子 議員
(福山市)

問 公立高校には、多様な事情を持つ生徒が通いやすい学校として各地域に存在することが求められており、生徒、保護者、地域の合意なく強引な統廃合はすべきでないと考えますが、地域の意見をいっ

答 県立学校再編に係る地域の意見は、「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」素案について要望に応じて学校関係者に説明を行った上で聞く。また、パブリックコメントにおいて、中学生や高校生、保護者からも、将来の高等学校の姿を自分事として考えた意見を受けた。

その他の質問項目
■ 平和問題と軍備拡大と平和憲法9条
■ 米軍川上弾薬庫周辺のPFAS汚染問題
■ 三原市本郷の安定型最終処分場
■ 中小事業者への賃上げ補助
■ 神辺水呑線
■ 公益通報制度と虚偽公文書問題
■ など

AX(AI)トランスフォーメーションへの転換



ひろしま刷新
村上 栄二 議員
(福山市)

問 広島県は東京都等内最先端の知見を吸収できる好機にあることから、AIによる合理的判断を前提に組織刷新を断行するAXへの転換、AIを主軸とした行政運営へかじを切るべきと考えるが、知事の決意を伺う。

答 AI技術は本県が目指す将来像の実現を加速させる中核的な技術の一つで、全国に先駆け様々な場面で積極的に活用を進めている。AIが持つ可能性を最大限取り入れるため、可能性を探る過程を通じて積極的にAIを活用し、組織全体で高いパフォーマンスを発揮して県民の信頼と負託に応える行政運営を行う。

その他の質問項目
■ AI活用による行政プロセスの刷新
■ 「地域の核」となる集約した施設
■ 中学校における定期考査の在り方
■ 部活動の地域展開に向けた指導者の確保
■ 新病院における高度医療の質と経営効率の両立
■ 女性を対象とした先進的な予防医療モデルの構築
■ など

県内就職促進策



自民議連
坪川 竜大 議員
(呉市)

問 若い世代の意見も取り入れながら、ライフスタイルの提案も含め、従来施策の延長線上にとどまらない、広島で働く魅力を伝えるべきと考えますが、どう打ち出すのか。

答 ひろしま就活サポートに任命された若手社員によるライフスタイルを含めた職場選択に役立つ情報発信や、若者の広島への関心を高める「それ、広島で。」キャンペーンを展開している。また、ライブやコンサートのニーズ等への若者の意見を聞きながら施策を実施し、中長期的な課題についても部局横断的に検討を進め、若者から選ばれる広島の実現につなげる。

その他の質問項目
■ 生成AIの利活用
■ 内部統制
■ 水産振興
■ ため池防災対策
■ 渇水対策
■ など

建設業の労働環境の改善



義友会
砂原 崇弘 議員
(広島市西区)

問 第三次・担い手3法の全面施行を受け、労務費の確実な行き渡りやダンピング対策の強化、週休2日の取組推進などをどのように進め、制度の徹底と実効性の確保を図るのか。

答 著しく低い労務費等による見せかけの改善など不適正な取引への改善指導等を行っている。また、県発注工事において、完全週休2日制の対象工事の拡大、猛暑対策の充実、ICT活用工事の拡大などに取り組むとともに、労務費ダンピングの排除に向けた取組や、適正な労務費等の支払いを受発注者で確認できる仕組みの構築などを進める。

その他の質問項目
■ 若者減少対策の魅力ある地域づくり
■ カキのへい死被害に講ずる対策
■ 高度医療・人材育成拠点の整備
■ 農業の生産力の強化に向けた目標設定と具体的な施策
■ 本県農業の特性に応じた戦略的な展開
■ 子供や学生を対象とした仕事体験の取組
■ など

シニア世代の再戦力化



民主県政会
高田 稔 議員
(安芸郡)

問 人手不足対応と技能伝承・生産性向上の実現に向け、現場の暗黙知や現場とデジタルに係る知見を併せ持つシニア世代の産業界での活用を促すため、シニア世代の再教育と活用を一体的に進める取組に係る所見を伺う。

答 企業がシニア世代を活用できるような再教育と副業・兼業など多様な働き方を進める企業を後押ししており、来年度からはシニア世代を含む外部人材による課題解決に対する支援を行う。これらの取組によりシニア世代の活躍を促進し、生産性の向上に資する仕組みづくりにつなげていきたい。

その他の質問項目
■ 「安心▽誇り▽挑戦」ひろしまビジョンへのテクノロジーの進化予測の反映
■ 実効性ある部局横断プロジェクトの推進体制の構築
■ データと学びで改善につなげる県政運営
■ 半導体産業のグランドデザイン
■ 物流の競争力の強化
■ 宿泊税を財源とした大胆な観光施策
■ など

高齢者のポリファーマシー対策



自民議連
伊藤 英治 議員
(三原市・世羅郡)

問 処方薬の管理が困難となった高齢患者の服薬過誤や薬による健康被害を防止するため、ポリファーマシー対策に注力する必要があるが、関係機関との連携や医療DXの進展を踏まえた取組方針を伺う。

答 県民理解の不足や職種間連携の難しさなどが課題であり、医師会、薬剤師会等と連携したチラシの作成、県民向け公開セミナーや医療介護従事者向け研修会の開催、広島大学病院等とのモデル事業の実施などに取り組んでいる。今後はマイナ保険証や電子処方箋の活用を進め、保健医療計画への反映も検討しながら対策を進める。

その他の質問項目
■ 広島空港への軌道系アクセス
■ 戻りたい広島県をつくる政策
■ 農業の未来と地域を守るビジョン
■ 障害者に対する歯科医療
■ 造船業の活性化策
■ 量子コンピュータ技術の研究開発支援
■ など

中山間地域振興対策の強化



民主県政会
桑木 良典 議員
(三原市・世羅郡)

問 来年度当初予算において中山間地域振興計画関連事業が大幅に増額されているが、どのように課題を認識し、将来を見据えてどのような取組を起そうとしているのか。

答 人口減少や高齢化により、中山間地域が有する機能や価値の継承が難しくなっている。誰もが安心して心豊かに笑顔で暮らせる中山間地域を次世代に引き継ぐため、農業経営体の育成や農地の集約など施策の強化により、地域内外の人々がその価値に共鳴し、地域活性化や課題解決への関心を高め、地域活動への関わりを広げていくよう積極的に取り組む。

その他の質問項目
■ 人口減少に対する取組
■ 本県農業が担うべき食料生産の役割
■ 本県の基幹産業である造船業への支援策
■ トラック運送業における人手不足対策
■ 介護現場が抱える課題への対応
■ 広島空港周辺施設のにぎわい創出に向けた中央森林公園及び三景園の集客促進
■ など

複合災害への対応



自民議連
緒方 直之 議員
(広島市東区)

問 国が複合災害への対策の検討を進める中、本県における複合災害について、どう状況を想定し、どう対策を検討していくのか。

答 複合災害では大地震後の水害等の発生や感染症の蔓延など、災害の複合化によって被害が拡大し対応も複雑化するため、より多くの人的・物的リソースが必要となることを想定される。受援・応援体制の強化や業務継続計画の見直し等の取組を進めるとともに、市町、消防、警察、自衛隊などと共同し、複合災害を想定したシナリオを用いて訓練を実施することなどにより、関係機関との連携強化を図っていく。

その他の質問項目
■ 知事としてのリーダーシップと県庁の組織風土
■ 広島が発信する核兵器廃絶の倫理観
■ 自衛隊との連携
■ 知事の考えるミッション・ビジョン・バリュー
■ 市民参加型のマラソン大会
■ ESG投資の拡大
■ など

2月26日

一般質問(要旨)

2月27日

一般質問(要旨)

3月2日

一般質問(要旨)

予算特別委員会の審査の状況

付託議案の審査結果

令和8年度一般会計、特別会計、企業会計
当初予算 可決

2月17日に設置された予算特別委員会では、3月9日に3人の参
考人から意見聴取を行い、3月10日から13日にかけて、総括審査を
行いました。
審査の中で委員から次のような意見や提言がありました。



(審査の様子は、県議会
ホームページの
「インターネット
中継」でご覧い
ただけます。)



社会保険関係費など
の義務的経費の増加
が想定される中、県債
発行額のマネジメント
による公債費の抑制な
ど、持続的な財政基盤
の確立とともに、県政
の課題解決に果敢に取
り組み、広島の魅力向
上に向け、多様な資源
や産業の強みを最大限
に生かした施策を推進
できる財政運営を進め
られたい。

次期中山間地域振
興計画の策定において、
地域特性に応じた柔
軟な生活支援の在り
方を模索し、中山間地
域の未来を背負って立
つ人々が希望を持って
暮らし続けられるよう
な県の方針を示された
い。また、中山間地域の
課題解決に向けて挑戦
しようとする方々に對
する大胆な支援を検討
されたい。

県民の結婚・妊娠出
産・子育ての希望への後
押しに向け、社会情勢
や若者のマインドを的
確に捉え、結婚に對す
るポジティブなイメ
ジの醸成だけでなく経
済的支援や民間企業
も巻き込んだ施策の実
施、産後ケアの広域連
携体制による助産師の
派遣など市町村を超え
た広域支援を着実に推
進されたい。

地方独立行政法人
広島県立病院機構の大
幅な赤字や厳しい経営
状況を踏まえ、実態に
即した計画を策定する
とともに、説明責任を
果たされたい。また、広
島駅周辺の再開発も踏
まえた交通渋滞対策、
新たな地域医療構想、
周辺医療機関との連携
及び利用者ニーズを拾
い上げて業務改善に反
映する仕組みの構築に
取り組まれたい。

計画的な修繕対応や
予防保全の視点を立っ
た戦略的なインフラ管
理に向け、劣化予測の
精緻化やデジタル技術
など新技術の導入によ
る維持管理の高度化、
施設の重要度に応じた
優先順位の設定など、
効率的・効果的な維持

委員名簿

16人

委員長	介則之弘	純潔	健哲	茂太	鶴い	孝也	圭
副委員長	清康	博基	昌	井崎	本知	原廣	葉本
委員	吉宮	西福	出鷹	稲蔵	竹山	本岡	富相
委員	岡八	野	澤	永	澤	野	齊
委員	原	千	よ	齋	原	野	原

管理を推進されたい。
「ひろしま空き家バンク
ある空き家対策となる
よう、引き続き利用者
が使いやすいウェブサイ
トとなる導線構築や、
事業効果を踏まえた
内容の見直しに取り組
まれたい。

本県人口の社会減対
策に向け、観啓大学にア
ントレプレナーシップ学
科を設置することによ
り、若者が社会課題の
解決に向けて積極的
にチャレンジする機運をさ
らに高め、本県が若者の
チャレンジを応援してい
ることのPRにもつなげ
るとともに、県立広島
大学が若者にとつて魅
力的な進学先となるた
めの環境整備などに取
り組まれたい。

高大連携の高度化に
向け、地域の人材育成
に加え、良質な資源を
有機的に結びつけるこ
とで全く新しい付加価
値を生み出す大きな可
能性を秘めていること
から、教育課程の調整
や共同研究、生徒・教職
員の交流等の環境整備
を支援し、本県の教育

研究・産業及び地域活
性化の相乗効果が生ま
れるような取組を推進
されたい。
基幹産業の生産性
と付加価値の向上に向
け、設備投資を促進し、
魅力ある新産業などの
育成・支援や誘致を通
じ、持続的な成長と雇
用創出を図るとともに
に、働き方改革や県内
企業の魅力のPRなど、
総合的な取組を強化
し、本県企業が若者に
選ばれ活躍できる環境
を整備されたい。
宿泊税の活用におい
て、市町が観光コンテン
ツの創出に継続して挑
戦できるスキームを構
築するとともに、二次
交通の充実を通じた周
遊促進や県内周遊型の
ピースツーリズムなど
を推進されたい。また、
広島県観光連盟やせと
うちDMOの役割分担
を整理し、稼ぐ力を成
長させられたい。
安全な交通確保に
大切な道路標示におい
て、県民の声を広くス
ピーディーに拾い上げ、
計画的に維持・更新さ
れたい。

3月4日・5日開催

常任委員会の動き

2次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各委員会の動画を視聴できます。

総務委員会

付託議案の審査結果
補正予算4件、条例案5件
その他の議決案件1件

原案可決

主な質疑事項
県民の利便性向上と行政事務
の生産性向上が期待できるA
Iを含むデジタル技術の活用
県行政全体への信頼を著しく毀
損する虚偽文書作成事案に係
る二次調査や再発防止策の策
定の速やかな実施と県民からの
信頼を取り戻すための取組
公益通報制度の運用スキ
ム見直しにおける職員の意
識向上と適切な制度運用

農林水産委員会

付託議案の審査結果
補正予算3件、条例案1件
その他の議決案件3件

原案可決

主な質疑事項
県産農林水産物の消費拡
大と生産拡大に向けた学校
給食における地産地消の推
進による県産農林水産物の
利用継続及び「おいしい!広
島」プロジェクトと連動した
取組の実施

文教委員会

付託議案の審査結果
補正予算2件、条例案4件

原案可決

主な質疑事項
授業料の実質無償化による公
立高校離れに対する今後の
県立高校の在り方を踏まえ
た支援の拡充及び生徒の可
性を広げる教育の実現や地
域の実情に応じた取組の推
進

生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果
補正予算3件、条例案6件
その他の議決案件2件

原案可決

主な質疑事項
「県民の安全・安心な暮らし
の基盤づくり」の実現に向け
て出産・子育て、医療・介護
福祉分野の必要な予算の確
保による施策の着実な実施
と財政状況や制度の見直し
の分かりやすい提示

建設委員会

付託議案の審査結果
補正予算4件、条例案1件
その他の議決案件6件

原案可決

主な質疑事項
公共事業量の確保に向けた
予算編成時などあらゆる機
会を捉えた国への働きかけ
による予算の確保
下水道管点検におけるAI
解析など新技術の導入による
「見えないリスク」を早期に
把握する体制の強化及び下
水道管の計画的更新と予防
保全の着実な実施

警察・商工労働委員会

付託議案の審査結果
補正予算3件、条例案3件
その他の議決案件1件

原案可決

主な質疑事項
警察職員が育休から復帰し
た場合の働きやすい環境づ
くり及び治安維持体制の確
保並びに職員の業務負担軽
減や働き方改革に向けた施
策の実施
警察組織における綱紀粛正
の徹底
中小・小規模事業者の持続的
な賃上げ環境整備のための
価格転嫁の推進に向けた支
援対象企業数の増加及び取
適法の周知徹底
進学等で県外に出た若者のU
ターン就職・転職の後押しによ
る転入促進策の一層の強化

伊藤真由美議員 逝去



伊藤真由美議員(安芸郡選出・自
民議連)が令和8年2月5日に逝去
されました。同議員は、平成23年4
月から4期14年余の長きにわたり
県政の発展に尽力され、この間、農
林水産委員長などの要職を歴任さ
れました。ここに故人のご冥福を祈
り、謹んで哀悼の意を表します。

巻頭写真撮影の高校生に 感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、広
島県立賀茂高等学校の奥本彩葉
さんに、灰岡香奈広報委員長が議
長からの感謝状を贈呈しました。
その後、写真部の活動や写真撮
影時のエピソードなどについて懇
談しました。



この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。
ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。
あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-4743
広島県議会事務局 政策調査課
FAX 082-222-9600 MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp

●インターネット中継…本会議や委員会の模様をYouTubeで配信しています(ライブ中継・録画中継)。
●テレビ広報番組の配信…「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。
●キッズサイト「みんなの県議会」…県議会の仕組みなどを分かりやすく説明しています。
本会議の傍聴や委員会の視察、議場の団体見学に関する情報は県議会ホームページをご覧ください。 広島県議会 検索